

人の手によって壊滅した

## 越前加賀海岸のハマナス (福井県あわら市)

40 年程前、越前加賀海岸国定公園の海岸線に咲く花々を、大形カメラで撮影しようと企画した事がある。それは、当時各地にハマナスの群生地があったからだ。当時のフィルムを見ると、確かに群生地では見事にハマナスが咲乱れている。

2019 年、再びデジタルカメラで撮影しようと、同じ場所に出向いた。実に驚いた事に、全ての群生地で絶滅一歩手前という状況であった。周辺を観察すると、砂防柵が見える。これは、行政が経費をかけて、ハマナスを守るために設置したものと思われた。ところが、裏目に出たのである。

ハマナス等の海浜植物は、砂をかむっても発芽する

能力を持っている。そんな環境に他の植物は入り込めない。ところが、砂防柵を設置すると、他の植物が容易に入り込んでくる。又、守られた環境を海浜植物は嫌うのである。人は余計な事をしたのである。

石川と福井の県境、大聖寺川と北潟湖の分岐、鹿島の森が見える場所にハマナスの群生地があった。作品はこの時に大形カメラで撮影したもの。数年後、周辺の浚渫工事が行なわれ、根元からハマナスの群落は失われた。現在、少し残った株が、数輪の花を付ける程度。ノイバラが繁殖し、絶滅も時間の問題と思われる。こちらは、重要性を理解しなかった行政の仕業である。



五軒山のハマナス群生。1982.5.15 石川県白山市 右上にある砂防柵の影響で、他の植物が進入、2019 年ほぼ絶滅。